



2024.1.24 <計2枚>

報道機関 各位

京都橋大学広報課

健康長寿社会をめざし、ウォーキングポイントで特産品をゲット、
若者必見！山科の観光名所をめぐる恋愛成就ロードマップなど
山科の魅力を伝える6つの施策を学生が山科区長へ提案

日 時：2024年1月30日（火）10：00～11：30

場 所：京都橋大学 啓成館 G102

京都橋大学では、経済・経営・工学部の1回生混成チームが、山科の魅力を伝える施策を考案し、1月30日（火）に山科区長へ企画提案を行います。

この取り組みは、「プロジェクトマネジメントⅠ」という授業の一環で実施しています。山科区におけるまちづくりの課題について、山科区役所から4つのテーマを提示いただき、学生チームが解決策を提案するという取り組みです。経済・経営・工学部の混成チームでは、異なる専門分野を持ち寄り、多様な価値観やアイデアを一つの施策としてまとめるため、リーダーシップやコミュニケーション力、マネジメント力等が鍛えられます。今回は約150チームからだされたアイデアの中から、選考を経た6チームが山科区長に直接プレゼンテーションを実施します。

プレゼンテーションにあたって学生たちは、地域のつながりの強さや安心・安全への取り組み、交通の利便性、歴史・自然等の強みをどのように活かすと山科区が抱えている課題（人口減少や高齢化）の解決につながるのか、時間をかけて取り組んできました。

山科区公式アプリ「やましなプラス+」の改善策については、いかにユーザーを獲得するか、デザイン、見せ方、発信方法について、デジタルネイティブ世代ならではの視点でまとめた提案内容になっています。また、想い人をエスコートするときに役立つ「告白までのロードマップ」をブログで発信する施策など、若い世代に興味をもってもらえるような企画を考えています。

今年で3回目の実施となる本取り組みを通して、学生が山科に愛着をもつとともに、地域の皆さまにも魅力の再発見につながるよう、活気あるまちづくりに参加していきたいと考えています。

記

○ プレゼンテーションの概要

日 時：2024年1月30日（火）10:00～11:30

場 所：京都橋大学 啓成館 G102

参 加 者：山科区長・横井雅史 氏 他

京都橋大学 副学長・阪本崇、経済学部准教授・ランビーノ パラガス 他

受講生数：経済学部、経営学部、工学部の1回生全員（788名）

* 提案内容、当日のスケジュール等については、別紙をご確認ください。

以 上

別紙

日時：2024年1月30日(火)10:00～11:30 場所：京都橋大学 啓成館 G102

(1) スケジュール

- 10:00 開会
- 10:05 「プロジェクトマネジメントⅠ」概要紹介
- 10:10 学生によるプレゼンテーション 6チーム(発表5分+質疑応答・講評5分を予定)
- 11:20 山科区長・横井雅史 氏からの総評
- 11:30 終了(写真撮影)

(2) 選出チームの提案内容

- ① やましなプラス+と「べる」の融合 ～山科区民だけでなく他府県からくる学生にも～
 - ② 山科の魅力
 - ③ 山科の観光地の魅力を全国に伝えるブログ
 - ④ 地域通貨「べる」 大学生世代への更なる普及のために
 - ⑤ やましなプラス+の改善策の提案
 - ⑥ やましなプラス+を日常にプラス+するために
- * 地域通貨「べる」は、10代の青少年の地域活動参画を促し、また、青少年の活躍を地域が見守り応援する仕組みとして平成27年8月より山科区で実施されています。

(3) 山科区から提示されたテーマ

- ① 山科区公式アプリ「やましなプラス+」の改善提案
- ② 山科を「住んでみたいまち」として全国的に有名にするための山科いいところMAPの提案
- ③ 大学生世代に地域通貨「べる」をより広く普及させるための提案
- ④ 山科の観光地としての魅力を全国的に発信するためのブログ提案

(4) 「プロジェクトマネジメントⅠ」について

リーダーシップおよびプロジェクトマネジメントを修得するための入門科目です。

特に、3学部4学科の学生が混合でチームを構成し、異なる分野の視点から解決策を導き出すことがねらいの一つです。また、授業の進行を学生アシスタントと呼ばれる先輩学生が担っており、学生同士で学びあうシステムもこの科目では大切にしています。



【2022年度の様子】